

# 2015年3月期 決算説明資料

2015年4月28日  
神奈川中央交通株式会社



## 一般旅客自動車運送事業

乗合業においては、4月に相模原市田名地域の交通結節点として田名バスターミナルを開設し、8月には長津田駅北口ロータリーの供用を開始し、駅などへのアクセスの向上を図るため路線再編を実施しました。また、利便性の向上や交通空白地域の解消を図るため、10月に大和市相模大塚地域で実験運行を行っていたコミュニティバスの本格運行を開始しました。神奈中タクシーグループにおいても、10月に大和市中心林間西側地域、1月に深見および桜ヶ丘地域のコミュニティバスの本格運行を開始しました。1月には輸送力の強化を図るため大和営業所中山操車所を横浜市旭区に移転するとともに、同操車所を起点とした新規路線を開設したことなどにより増収となりました。さらに、3月に環境保全に向けた各種取り組みの一つとして、公益財団法人交通エコロジー・モビリティ財団より「グリーン経営認証」を取得しました。なお、当社および連結子会社5社で運営している乗合バス事業を、エリア特性に応じた事業環境を考慮し3社体制に再編することとし、その準備に着手しました。

貸切業においては、「高速・貸切バスの安全・安心回復プラン」に基づく単価の見直しを行ったことにより一車当たりの収入が増加するとともに、法人契約に基づく従業員輸送を新規に開始しました。また、富岡製糸場が世界文化遺産に登録されたことを受けて、「富岡製糸場見学」などの旅行も企画し販売したことにより増収となりました。

乗用業においては、羽田空港への定額運賃サービスの利用が堅調に推移しました。また、実験運行を行っていた二宮町富士見が丘・松根地域などのデマンドタクシーを本格運行するとともに、女性乗務員を積極的に採用するなど採用の強化に努めましたが、乗務員不足による稼働減などにより減収となりました。

以上の結果、一般旅客自動車運送事業全体の売上高は586億4千3百万円（前期比0.0%増）、営業利益は23億9千7百万円（前期比11.4%増）となりました。



移転した中山操車所と  
三菱ふそう・トラックバス(株)製の新型車両



新規取引先を開拓した貸切業

## 不動産事業

分譲業においては、平塚市めぐみが丘の販売数が減少したことなどにより減収となりました。一方、賃貸業においては、既存賃貸施設の高稼働率を維持したことやテナントの入替えに伴う賃料の増に加え、前期に賃貸を開始した商用車販売会社の賃貸施設が通期寄与し増収となりました。

以上の結果、不動産事業全体の売上高は 47 億 8 千万円（前期比 0.9%減）となりましたが、既存賃貸施設の修繕費の減などにより営業利益は 23 億 1 千 4 百万円（前期比 8.7%増）となりました。



新規テナントが入居した「港南中央ビル」



リニューアルした  
メルセデス・ベンツ相模原ショールーム

## 自動車販売事業

自動車販売事業においては、商用車販売で既存のお客様に対する車検や点検等メンテナンスの営業活動を強化したことにより車両整備や部品販売が増加しましたが、消費税率引上げに伴う前期の駆け込み需要の反動によりトラックの販売台数が減少しました。また、輸入車販売では、モデルチェンジの効果や新型デザインのコンパクトSUVの発売により新車の販売台数が増加するとともに、中古車の販売台数も好調に推移しました。さらに、3月にはメルセデス・ベンツ相模原ショールームのフロアを拡大し展示車両を増やすなどのリニューアルを行いました。

以上の結果、自動車販売事業全体の売上高は 256 億 3 千 6 百万円（前期比 0.9%増）、営業利益は 6 億 1 千 8 百万円（前期比 10.2%増）となりました。

## その他の事業

流通業においては、原油安の影響による燃料販売単価の下落やオートガス販売の減少などにより減収となりました。

飲食・娯楽業においては、「らーめん味噌工房町田本店」を「らーめん花樂町田店」へ業態変更を行いました。また、「ドトールコーヒーショップ上野浅草通り店」をリニューアルするとともに、12月に「海老名ピナウォーク店」、2月には「みなとみらいグランモール公園店」を新規出店し収益の拡大を図りました。さらに、「TSUTAYA金沢文庫駅前店・港南中央店・辻堂駅前店」でコミックレンタルのサービスを導入しお客様満足度の向上に努めましたが、近隣施設との競合などにより減収となりました。

レジャー・スポーツ業においては、フィットネスクラブ「ライフティック平塚」やテニススクール「神奈中インドアテニススクール平塚」などで20周年キャンペーンを実施しました。また、12月に日帰り温泉「湯快爽快たや店」で新型サウナを導入するなど施設をリニューアルするとともに、「湯快爽快くりひら店」では、小田急線鶴川駅の無料送迎バスを増便するなど新規のお客様の獲得に努めました。さらに、ゴルフ場「中伊豆グリーンクラブ」では、早朝・午後スループレーの拡大や食事メニューを充実させるとともに、近隣宿泊施設との提携、開場25周年記念特別謝恩企画を実施しお客様の獲得に努めましたが、前年度に遊技場をグループ外の承継会社に会社分割したことなどにより減収となりました。

ホテル業においては、宿泊部門で企業・団体への営業活動を強化したことによりお客様が増加するとともに、料飲・宴会部門では新たにレディースプランの実施やスキルアップ講座などを開催しましたが、物品販売の減少などにより減収となりました。

総合ビルメンテナンス業においては、設備更新工事や設備保守管理の新規受注により増収となりました。

以上の結果、その他の事業全体の売上高は304億8百万円（前期比7.2%減）、営業利益は13億3千万円（前期比2.8%減）となりました。



業態変更したらーめん花樂町田店



新規出店したドトールコーヒーショップ  
みなとみらいグランモール公園店



開場25周年を迎えた  
中伊豆グリーンクラブ



# 連結損益計算書（1）

単位：百万円

	2015年3月期	2014年3月期	増減	摘要	2015年3月期 業績予想	増減
売上高	108,619	110,237	△ 1,618 (△ 1.5%)	自動車販売事業 +223 その他の事業 △2,351	107,100	1,519 (1.4%)
営業利益	6,593	6,085	507 (8.3%)	一般旅客自動車運送事業 +244 不動産事業 +185	5,760	833 (14.5%)
経常利益	6,386	5,672	714 (12.6%)	営業外収益 +139 営業外費用 △67	5,230	1,156 (22.1%)
特別利益	861	954	△ 93 (△ 9.8%)	投資有価証券売却益 +354 事業譲渡益 △520	750	111 (14.8%)
特別損失	747	484	262 (54.2%)	固定資産除却損 +290	780	△ 32 (△ 4.2%)
当期純利益	3,723	3,497	225 (6.4%)		3,130	593 (18.9%)
1株当たり 当期純利益	60.28円	56.52円	3.76円		50.58円	9.70円

減価償却費	5,599	5,617	△ 17			
EBITDA	12,192	11,703	489	※営業利益+減価償却費		
資本的支出	5,908	7,024	△ 1,115			

## 売上高

自動車販売事業が輸入車販売の増加などにより好調に推移したものの、その他の事業において前年度に遊技場をグループ外の承継会社に会社分割したことにより減収。

## 営業利益

一般旅客自動車運送事業における燃料費の減少や、不動産事業において既存賃貸施設の修繕費が減少したことなどにより増益。

## 経常利益

土壌改良費用の戻入による営業外収益の増加や、有利子負債の減少などによる金融費用の減少により増益。

## 特別利益

（1）固定資産売却益	202百万円	車両売却益
（2）補助金	165百万円	乗合バス購入補助金等
（3）投資有価証券売却益	354百万円	

## 特別損失

（1）固定資産除却損	372百万円	営業所建物の建替、移転に伴う除却損等
（2）固定資産圧縮損	158百万円	補助金による圧縮損
（3）損害賠償金	119百万円	

# 連結貸借対照表

単位：百万円

	2015年3月期	2014年3月期	増減	摘要
流動資産	17,487	17,308	179 (1.0%)	受取手形及び売掛金 +322
固定資産	125,129	120,197	4,932 (4.1%)	投資有価証券 +4,961
資産合計	142,617	137,505	5,112 (3.7%)	
流動負債	48,419	45,149	3,269 (7.2%)	短期借入金 +1,218
固定負債	48,209	52,978	△ 4,768 (△ 9.0%)	社債 +5,000 長期借入金 △10,683
負債合計	96,629	98,128	△ 1,498 (△ 1.5%)	
純資産合計	45,988	39,377	6,610 (16.8%)	利益剰余金 +3,186 その他有価証券評価差額金 +3,367
負債純資産合計	142,617	137,505	5,112 (3.7%)	

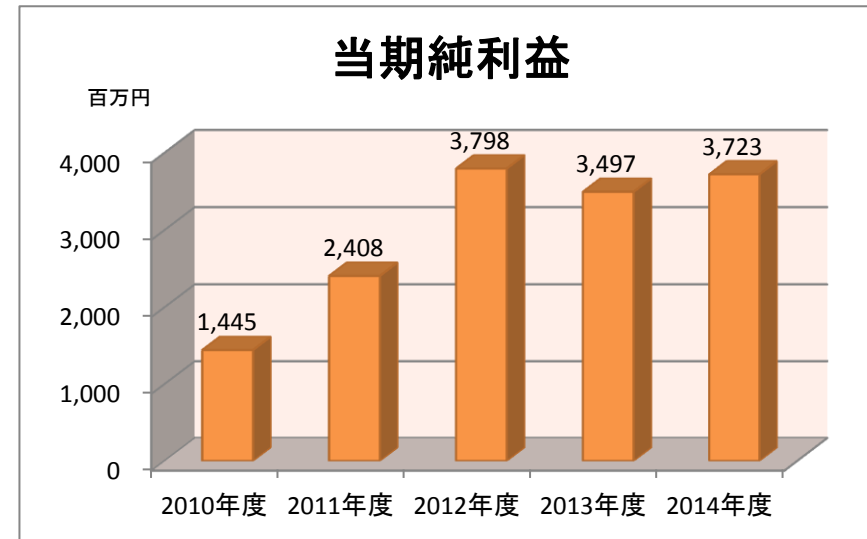
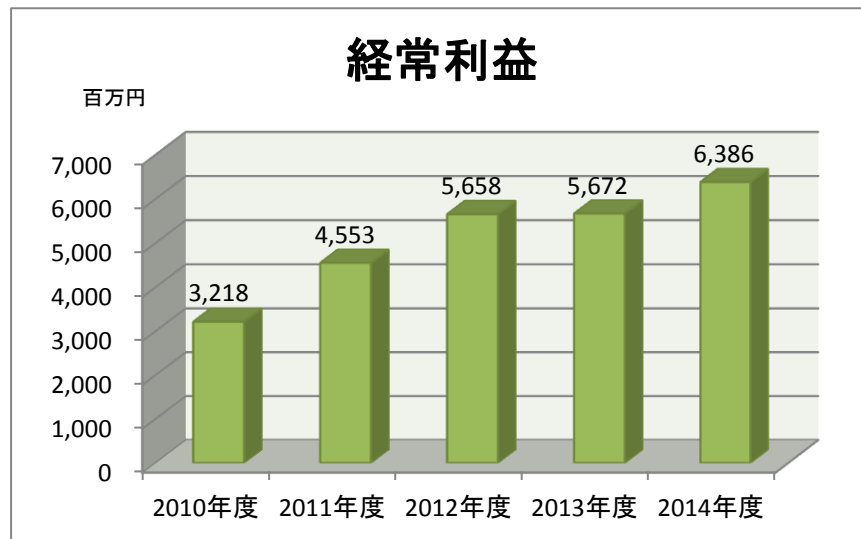
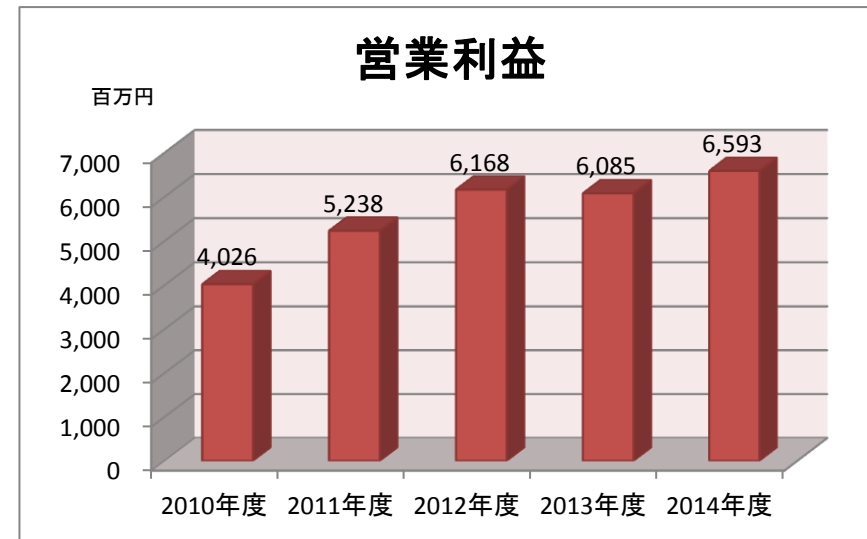
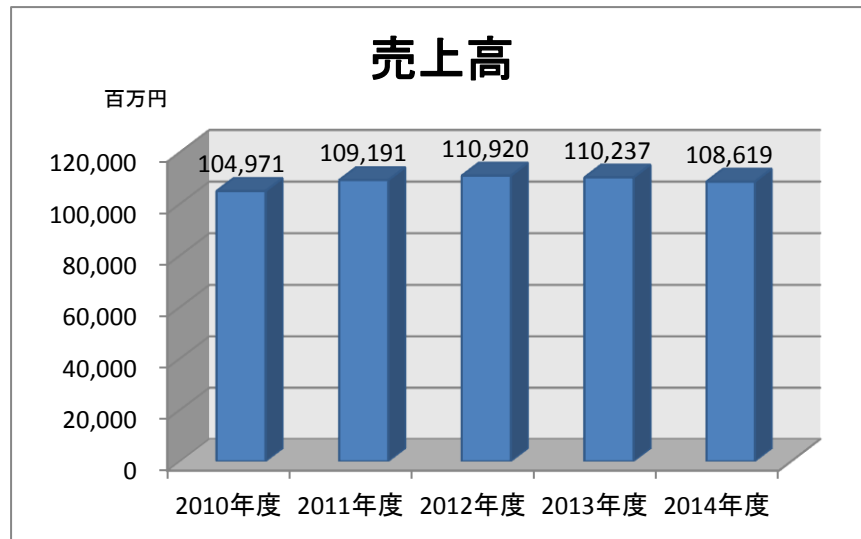
1株当たり純資産額	687.62円	584.44円	103.18円	
自己資本比率	29.7%	26.3%	3.4P	
有利子負債残高	50,378	54,843	△ 4,464	

# 連結キャッシュフロー計算書

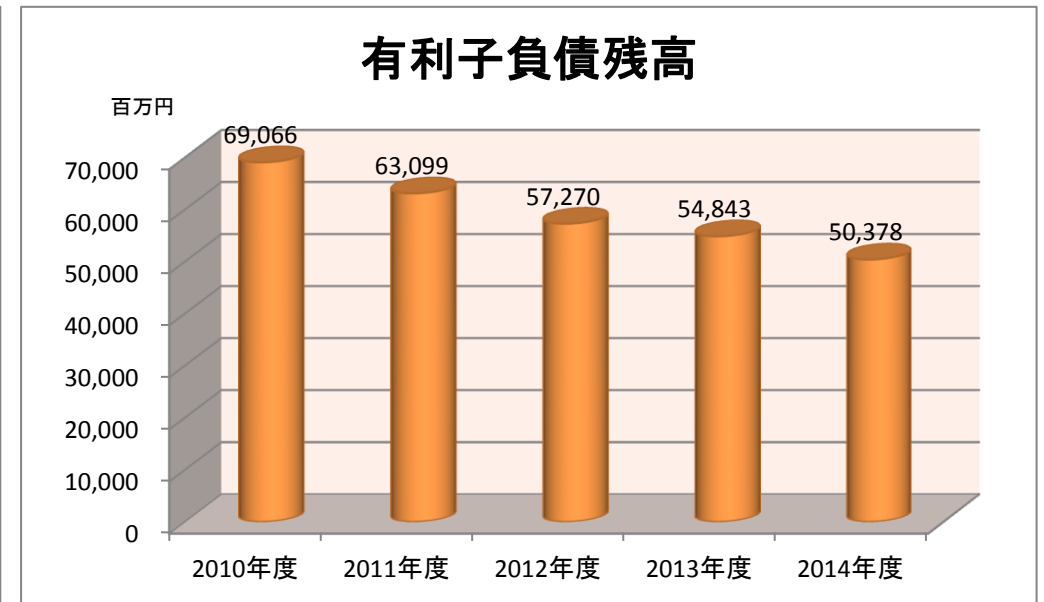
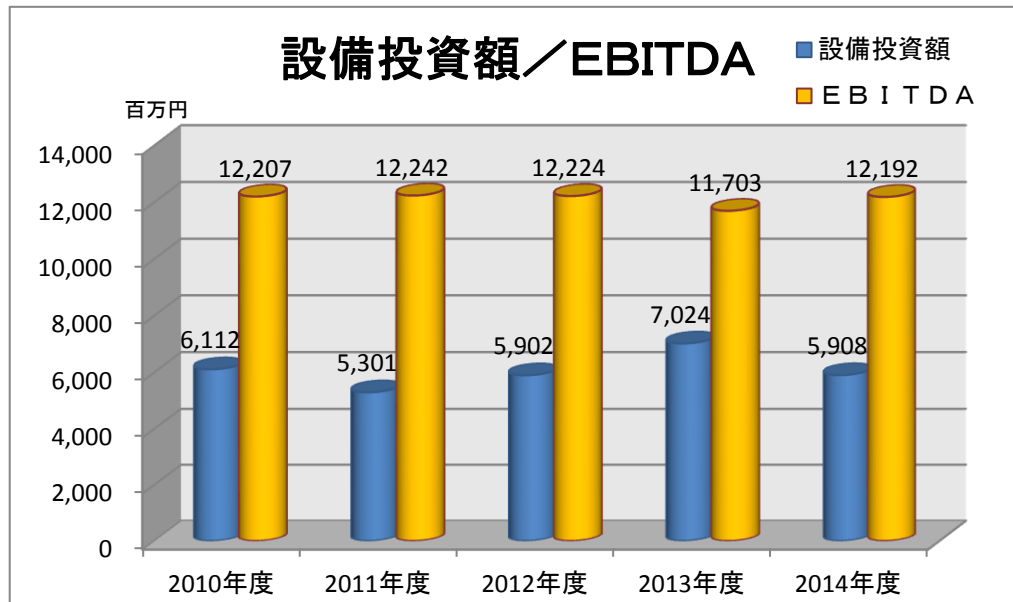
単位:百万円

	2015年3月期	2014年3月期	増減	摘要
営業キャッシュ・フロー	10,077	8,262	1,814 (22.0%)	未払消費税等の増減額 +1,677
投資キャッシュ・フロー	△ 4,354	△ 4,988	633 (12.7%)	固定資産の取得による支出 +1,002 投資有価証券の売却による収入 +439
財務キャッシュ・フロー	△ 5,643	△ 3,448	△ 2,194 (△ 63.6%)	借入金の増減額 △7,036 社債の発行による収入 +4,972
現金及び現金同等物の増減額	79	△ 174	253 (145.2%)	
現金及び現金同等物の期末残高	2,380	2,301	79 (3.4%)	





# 設備投資額／EBITDA・有利子負債の推移



神奈中グループ 子会社 27 社、関連会社 3 社

うち 連結子会社 27 社

持分法適用会社 2 社 (大山観光電鉄(株)、(株)小田急保険サービス)

## 《主な連結会社》

### 【一般旅客自動車運送事業】

神奈川中央交通(株)、相模中央交通(株)、神奈中ハイヤー(株)、神奈中観光(株)

### 【不動産事業】

神奈川中央交通(株)、相模中央交通(株)、神中興業(株)

### 【自動車販売事業】

神奈川三菱ふそう自動車販売(株)、神奈中相模ヤナセ(株)

### 【その他の事業】

神奈川中央交通(株)、(株)神奈中商事、(株)クリエイイトL & S、(株)アドベル、  
(株)神奈中情報システム、横浜ビルシステム(株)

# セグメント情報（一般旅客自動車運送事業）

単位:百万円

	2015年3月期	2014年3月期	増減	摘要	2015年3月期 業績予想	増減
売上高	58,643	58,642	1 (0.0%)	乗合業 +26 貸切業 +98 乗用業 △123	59,120	△ 476 (△ 0.8%)
営業利益	2,397	2,152	244 (11.4%)	乗合業 +167 貸切業 +80 乗用業 △3	2,070	327 (15.8%)
資産	55,564	56,514	△ 950			
減価償却費	3,942	3,919	22			
減損損失	-	-	-			
資本的支出	5,008	5,460	△ 452			

## 【対前年】

乗合業においては、燃料費の減少などにより増収増益。

貸切業においては、「高速・貸切バスの安全・安心回復プラン」に基づく単価の見直しなどにより増収増益。

乗用業においては、乗務員不足による稼働減などにより減収減益。

## ※参考 乗合業輸送人員

単位:百万人

	2015年3月期	2014年3月期	増減率	摘要
定期外	180	180	△ 0.4%	
定期	61	57	5.7%	通勤定期券の増
合計	241	238	1.1%	

# セグメント情報（不動産事業）

単位：百万円

	2015年3月期	2014年3月期	増減	摘要	2015年3月期 業績予想	増減
売上高	4,780	4,823	△ 43 (△ 0.9%)	分譲業 △178 賃貸業 +134	5,190	△ 409 (△ 7.9%)
営業利益	2,314	2,129	185 (8.7%)	分譲業 △38 賃貸業 +223	2,290	24 (1.1%)
資産	40,094	39,778	315			
減価償却費	857	868	△ 11			
減損損失	3	75	△ 71			
資本的支出	302	277	25			

## 【対前年】

分譲業においては、平塚市めぐみが丘の販売数が減少したことなどにより減収減益。

賃貸業においては、前期に賃貸を開始した商用車販売会社の賃貸施設が通期寄与したことや、既存賃貸施設の修繕費が減少したことなどにより増収増益。

# セグメント情報（自動車販売事業）

単位：百万円

	2015年3月期	2014年3月期	増減	摘要	2015年3月期 業績予想	増減
売上高	25,636	25,412	223 (0.9%)	商用車販売 △231 輸入車販売 +455	23,670	1,966 (8.3%)
営業利益	618	560	57 (10.2%)	商用車販売 +50 輸入車販売 +7	400	218 (54.5%)
資産	14,945	14,602	342			
減価償却費	248	235	12			
減損損失	-	-	-			
資本的支出	225	955	△ 730			

## 【対前年】

商用車販売においては、消費税率引上げに伴う駆け込み需要の影響によりトラックの販売台数が減少したものの、車両整備や部品販売の増加などにより増益。

輸入車販売においては、モデルチェンジの効果や新型デザインのコンパクト SUV の発売により新車販売台数が増加し増収増益。

## ※参考 新車販売台数

単位：台

	2015年3月期	2014年3月期	増減
トラック	1,725	1,857	△ 132
バス	182	178	4
輸入車	443	402	41



## セグメント情報（その他の事業）

単位：百万円

	2015年3月期	2014年3月期	増減	摘要	2015年3月期 業績予想	増減
売上高	30,408	32,760	△ 2,351 (△ 7.2%)	流通業 △1,116 レジャー・スポーツ業 △1,631	30,110	298 (1.0%)
営業利益	1,330	1,368	△ 38 (△ 2.8%)	流通業 △43 レジャー・スポーツ業 △120	1,170	160 (13.7%)
資産	32,188	33,624	△ 1,436			
減価償却費	551	593	△ 42			
減損損失	12	28	△ 15			
資本的支出	469	485	△ 16			

### 【対前年】

総合ビルメンテナンス業における設備更新工事や設備保守管理の新規受注などがあったものの、レジャー・スポーツ業において前年度に遊技場をグループ外の承継会社に会社分割したことや、流通業において燃料販売単価の下落やオートガス販売が減少したことなどにより減収減益。

## 2016年3月期の業績予想

単位:百万円

	2016年3月期	2015年3月期	増減	摘要
売上高	110,800	108,619	2,180 (2.0%)	自動車販売業 +2,643
営業利益	6,040	6,593	△ 553 (△ 8.4%)	一般旅客自動車運送事業 △367 不動産事業 △114
経常利益	5,570	6,386	△ 816 (△ 12.8%)	
特別利益	590	861	△ 271 (△ 31.5%)	投資有価証券売却益 △354
特別損失	510	747	△ 237 (△ 31.7%)	固定資産除却損 △240
親会社株主に帰属 する当期純利益	3,350	3,723	△ 373 (△ 10.0%)	
1株当たり 当期純利益	54.32円	60.28円	△ 5.96円	
減価償却費	5,708	5,599	108	
資本的支出	11,312	5,908	5,403	

【対前年】

自動車販売事業における車両販売台数の増加などを織り込むものの、総合ビルメンテナンス業における設備更新工事の受注減や、一般旅客自動車運送事業および不動産事業における修繕費の増加などにより減益。

# セグメント別業績予想（一般旅客自動車運送事業）

単位：百万円

	2016年3月期	2015年3月期	増減	摘要
売上高	59,610	58,643	966 (1.6%)	乗合業 +24 貸切業 +129 乗用業 +812
営業利益	2,030	2,397	△ 367 (△ 15.3%)	乗合業 △435 貸切業 △101 乗用業 +169
減価償却費	4,008	3,942	65	
資本的支出	7,814	5,008	2,805	

## 【対前年】

乗用業において稼働増などによる増収を織り込むものの、乗合業における営業所建物の修繕費の増加や貸切業における人件費の増加などにより減益。

## ※参考 乗合業輸送人員計画

単位：百万人

	2016年3月期	2015年3月期	増減率	摘要
定期外	182	180	1.0 %	
定期	60	61	△ 1.7 %	
合計	242	241	0.3 %	

# セグメント別業績予想（不動産事業）

単位：百万円

	2016年3月期	2015年3月期	増減	摘要
売上高	5,540	4,780	759 (15.9%)	分譲業 +618 賃貸業 +141
営業利益	2,200	2,314	△ 114 (△ 4.9%)	分譲業 +161 賃貸業 △276
減価償却費	876	857	18	
資本的支出	1,730	302	1,427	

【対前年】

宅地分譲の増加などにより増収となるものの、賃貸業における修繕費や建物維持管理費の増加などにより減益。

# セグメント別業績予想（自動車販売事業）

単位：百万円

	2016年3月期	2015年3月期	増減	摘要
売上高	28,280	25,636	2,643 (10.3%)	商用車販売 +2,268 輸入車販売 +374
営業利益	560	618	△ 58 (△ 9.4%)	商用車販売 △19 輸入車販売 △38
減価償却費	241	248	△ 7	
資本的支出	917	225	691	

## 【対前年】

車両販売台数の増加を織り込むものの、商用車販売における部品販売の減少や、輸入車販売における賃借料の増などにより増収減益。

## ※参考 新車販売台数

単位：台

	2016年3月期	2015年3月期	増減
トラック	2,124	1,725	399
バス	221	182	39
輸入車	495	443	52



## セグメント別業績予想（その他の事業）

単位：百万円

	2016年3月期	2015年3月期	増減	摘要
売上高	29,510	30,408	△ 898 (△ 3.0%)	総合ビルメンテナンス業 △465 流通業 △434
営業利益	1,320	1,330	△ 10 (△ 0.8%)	
減価償却費	581	551	29	
資本的支出	993	469	523	

### 【対前年】

総合ビルメンテナンス業における受注減や、流通業における燃料販売単価減などにより減収。

## (参考) 個別業績予想

単位:百万円

	2016年3月期 業績予想	2015年3月期 実績	増減	摘要
売上高	53,100	52,411	688 (1.3%)	分譲売上の増
営業利益	3,240	3,649	△ 409 (△ 11.2%)	修繕費の増
経常利益	3,010	3,504	△ 494 (△ 14.1%)	
特別利益	620	854	△ 234 (△ 27.4%)	投資有価証券売却益の減
特別損失	430	604	△ 174 (△ 28.9%)	固定資産除却損の減
当期純利益	2,109	2,457	△ 348 (△ 14.2%)	
1株当たり 当期純利益	34.21円	39.79円	△ 5.58円	

## (1) 大和市コミュニティバス【やまとんGO】の運行受託開始

当社グループでは、大和市コミュニティバス【やまとんGO】の運行受託を開始しました。2014年度から4ルートで運行を開始し、この「やまとんGO」は小回りの利くワゴン車タイプの車両を使用することで、狭隘路でも機動的に運行することができます。当社グループは、これまでの各地のコミュニティバスなどの運行ノウハウを生かしていくことで、今後もお客様の多様化するニーズにお応えし、地域活性化の一翼を担っていきます。



コミュニティバス運行車両「やまとんGO」

## (2) 神奈川三菱ふそう自動車販売(株)の旧川崎支店跡地を有効活用

当社グループの神奈川三菱ふそう自動車販売(株)では、支店展開における最適な販売ネットワークを確保するため、川崎市中原区の川崎支店を同市都筑区に移転いたしました。そして旧川崎支店跡地を賃貸することで有効活用し、さらなる収益基盤の確保を実現しました。



旧川崎支店跡地

## (3) メガソーラー（太陽光発電）事業に参入

当社グループにおけるCSR（企業の社会的責任）への取り組みの一つである「環境保全への取り組み」を実現すべく、また、国内の環境、資源、エネルギー情勢を踏まえ、環境負荷の低減に貢献するとともに、社有地の有効活用を図る観点からメガソーラー（太陽光発電）事業に参入します。発電所は岩手県胆沢郡金ヶ崎町に2箇所（1.5MW・1.0MW）設置し、合わせて年間840世帯分に相当する電力を発電することができます。発電した電気は、東北電力株式会社に売電します。



イメージ図（神奈中岩手県金ヶ崎太陽光発電所）

## (4) 「さぼーとタクシー」サービスを開始

当社グループの神奈中タクシーホールディングスでは、高齢者や観光客、お子様や妊婦の方の暮らしのいろいろなシーンをサポートする、時間制運賃を活用した新しいサービスを開始しました。

- ① 付添いサポート（高齢者や一人での外出が不安な方への買い物や通院の付添いで、荷物運びや病院などの受付手続きの代行も行います。）
- ② 観光サポート（マイカー代わりに少人数での観光をお手伝いします。）
- ③ お迎えサポート（急な用事で保育園のお迎えができない時などに、お子様をお迎えに行きます。）
- ④ マタニティサポート（陣痛の時など、24時間最優先で自宅から病院までお送りいたします。）



時間制運賃を活用した「さぼーとタクシー」

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

【問い合わせ先】

神奈川中央交通株式会社 総務部

TEL 0463-22-8800